

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公開番号】特開2010-172448(P2010-172448A)
【公開日】平成22年8月12日(2010.8.12)
【年通号数】公開・登録公報2010-032
【出願番号】特願2009-17653(P2009-17653)
【国際特許分類】

A 6 3 B 69/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 69/00 5 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月2日(2011.8.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明に係る弓道練習用具は、弓体と、前記弓体の上端部に一端を連結された第 1 引張り弾性部材と、前記弓体の下端部に一端を連結された第 2 引張り弾性部材と、前記第 1 引張り弾性部材の他端と前記第 2 引張り弾性部材の他端とに連結された弦材と、を備え、前記第 1 引張り弾性部材、前記弦材および前記第 2 引張り弾性部材からなる弦は、張力を付与した状態で前記弓体の上端部と下端部との間に張り渡されており、一方の手で前記弓体の握り部を押し出すとともに他方の手で前記弦材を引くことにより、前記第 1 引張り弾性部材および前記第 2 引張り弾性部材を伸長させて引き分けた状態にすることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明に係る弓道練習用具は、弓体と、前記弓体の上端部に一端を連結された引張り弾性部材と、前記弓体の下端部と前記引張り弾性部材の他端とに連結された弦材と、を備え、前記引張り弾性部材および前記弦材からなる弦は、張力を付与した状態で前記弓体の上端部と下端部との間に張り渡されており、一方の手で前記弓体の握り部を押し出すとともに他方の手で前記弦材を引くことにより、前記引張り弾性部材を伸長させて引き分けた状態にすることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0027

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0027】

次に、上アーム14の上端部と下アーム16の下端部との間に張り渡される弦130について説明する。第1アーム14の先端部（図示の上端部）には、紐状またはロープ状のゴム状弾性材で構成された伸縮可能な弾性部材からなる引張り弾性部材132の一端が連結具18aを介して連結されている。また、第2アーム16の先端部（図示の下端部）には、弦材136の一端が連結具18eを介して連結されている。そして、引張り弾性部材132の他端は連結具18cを介して弦材136の他端に連結されている。つまり、上アーム14の上端部と下アーム16の下端部との間に張り渡される弦130は、弦材136と所定長さの伸縮可能な弾性部材132とで構成されている。弦材136は、一端では第2アーム16の先端に直接連結されているが、他端では弾性部材132を介して第1アーム14の先端に連結されている。この場合、弾性部材132は、本来の弓（本弓または実物）の弦の張力を考慮するとともに、練習における引き分けの際の使用感覚（引き分け感覚など）などを考慮して、適正な張力を付与した状態で連結されている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

弓体と、前記弓体の上端部に一端を連結された第1引張り弾性部材と、前記弓体の下端部に一端を連結された第2引張り弾性部材と、前記第1引張り弾性部材の他端と前記第2引張り弾性部材の他端とに連結された弦材と、を備え、

前記第1引張り弾性部材、前記弦材および前記第2引張り弾性部材からなる弦は、張力を付与した状態で前記弓体の上端部と下端部との間に張り渡されており、

一方の手で前記弓体の握り部を押し出すとともに他方の手で前記弦材を引くことにより、前記第1引張り弾性部材および前記第2引張り弾性部材を伸長させて引き分けた状態にすることを特徴とする弓道練習用具。

【請求項2】

弓体と、前記弓体の上端部に一端を連結された引張り弾性部材と、前記弓体の下端部と前記引張り弾性部材の他端とに連結された弦材と、を備え、

前記引張り弾性部材および前記弦材からなる弦は、張力を付与した状態で前記弓体の上端部と下端部との間に張り渡されており、

一方の手で前記弓体の握り部を押し出すとともに他方の手で前記弦材を引くことにより、前記引張り弾性部材を伸長させて引き分けた状態にすることを特徴とする弓道練習用具。